

伊丹空港へ遊びに来て

商業エリア充実 5日全面開業

約半世紀ぶりの大規模改装を進めてきた大阪(伊丹)空港の工事が完了し、5日に全面開業する。保安検査を効率化し、商業エリアを充実させ、旅客も地元の人も「ゆったり楽しめる空港」を追求した。新型コロナウイルスの影響で国際線が低迷する中、関西の国内線の拠点となっている伊丹のリニューアルは、国際線に依存せずに地方空港が生き残るための、試金石になりそうだ。(牛島要平)

保安検査を効率化

昭和44年に使われ始めた伊丹空港のターミナル。これまで保安検査場通過後のエリアは売店が点在する程度だったが、リニューアルで、国内線空港初のウォー

クスルー型商業エリアを設けた。物販や飲食のコーナーを回遊しながら搭乗口へ向かうことができる。「昭和の名残があった雰囲気はがらっと明るく変わります」伊丹空港を運営する関西



5日にリニューアルオープンする伊丹空港の店舗エリアのイメージ図(関西エアポート提供)

エアポートの広報担当者はこう胸を張る。検査場通過後エリアの店舗数は工事前の11から31に増えた。神戸のホテル「ラ・スイート神戸ハーバーランド」のラウンジ・バーを再現した「グラン・ブルー」では、駐機中の飛行機や離着陸の様子を眺めながら、食事やお酒を楽しめる。運営会社の広報担当者は「空港でこれまでになかった体験をしてほしい。そうした関西エアポートの提案に共感した」と話す。

まちづくりの核に
従来、伊丹空港の利用客はビジネス客が多く、空港滞在時間は短かった。そこで、リニューアルでは手荷物自動でエックス線検査機まで運ぶ「スマートレーン」を4台から14台に増設。保安検査を手早く済ませ、搭乗時間までの時間的余裕を生み出して、ゆったり買い物や飲食を楽しんでもらうことを狙っている。商業施設を拡充して利用客を呼び込む取り組みは、他空港でも進む。中部国際空港(愛知県常滑市)は平成30年10月、「遊べる飛行機のテーマパーク」をつけた施設を開業。北海道の新千歳空港も「ドラえもん」や「ハローキティ」といった人気キャラクターの世界を体験できる施設を置いている。

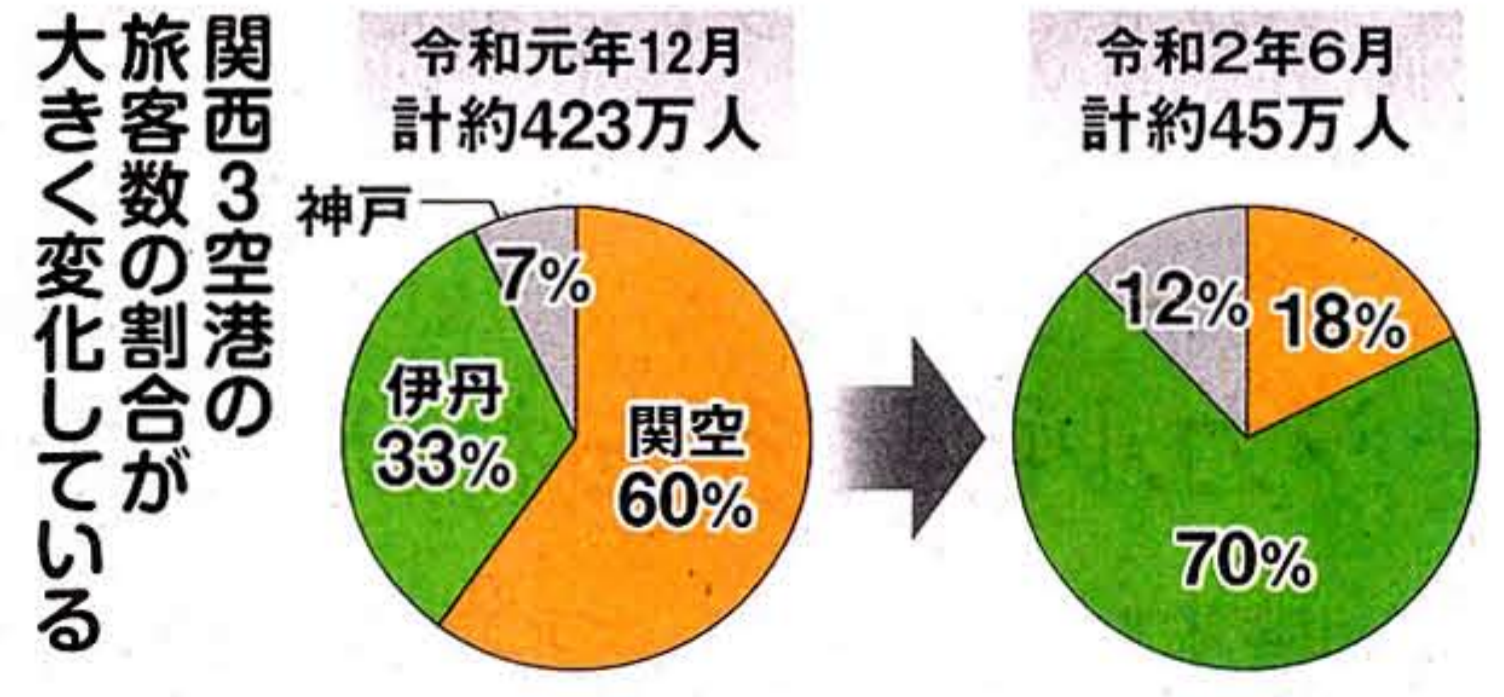
コロナ後見据え顧客獲得

伊丹も「お出かけ場所」として新たな顧客の獲得を目指す。30年4月の先行オープンでは、展望デッキを増床し、子供の遊び場を提議する施設を設けるなどした結果、ランチや夕食に空港を訪れる主婦や家族連れが増えた。伊丹市空港政策課の前田和宏課長も「空港をまちづくりの核に位置付けている」と期待する。

て、今回のリニューアルは、航空業界でも大きな注目を集めている。国際線の低迷は続く一方、伊丹が多くを担う国内線は徐々に旅客が回復傾向にあるからだ。実際、国際線中心の関西国際空港と比べて旅客数の割合はこの半年間で一変した。昨年末、神戸空港を加えた関西3空港の旅客数のうち関西が占めたのが6割、伊丹は3割だったのが、今年6月は伊丹7割、関西2割と逆転した。民営空港にとって成長を支えてきた訪日外国人客(インバウンド)需要が急失速した現在、今後、どう旅客を回復し、伸ばしていくかが大きな課題だ。伊丹では十分な感染症対策をとったうえで、リニューアルを生かした国内線需要掘り起こしを図る。

店名	特色
浪芳庵	小豆、もち米、粟、水など素材にこだわった和菓子の実演販売
京出汁おいなり釣狐	老舗豆腐店「嵯峨豆腐森嘉」のお揚げと京だしを使ったいなりすし
鶴橋白雲台	大阪・鶴橋で焼肉文化を培った老舗、韓国料理のほか空港特製メニューも
堺 銀シャリげこ亭	「飯炊き仙人」と呼ばれる村嶋孟さんの技術を継承したご飯とおかず
グラン・ブルー	飛行機の離着陸を眺められるパーカウター、焼き立てパンやワインなど
豊岡鞆	兵庫県豊岡市で厳しい審査に合格した「豊岡鞆」ブランドのカバンや財布
じゃらんマルシェ	旅行雑誌「じゃらん」が、旅行や帰省などのシーンに合う土産物を厳選

伊丹空港に新たに新店を出す主な店舗



文教大の小島克巳教授(航空政策)は「国内線の拠点である伊丹空港のリニューアルは、アフターコロナ」を見据えた国際線に依存しない空港運営のモデルケースとなる可能性がある。同様の悩みを抱える地方空港にとっても参考となるだろう」と指摘している。